

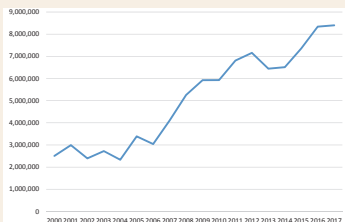
海外生活 エッセー

ソウル事務所

韓国のプロ野球事情について

ソウル事務所 大山 祐二 (宮崎県派遣)

韓国では、街中がユニフォームで真っ赤に染まるほど熱狂的な応援で知られるサッカー観戦が有名ですが、実は今、韓国プロ野球が盛り上がっており、観客動員数は昨年 840 万人を超え、右肩上がりです。



今回は韓国プロ野球の魅力についてお伝えします。

→ 韓国プロ野球とは？

韓国プロ野球は 1 リーグ 10 球団で構成され、ソウル、太田、大邱、釜山など、韓国各地にホーム球場を有し、年間 144 試合を戦います。

その結果ポストシーズンには、公式戦の 1 位から 5 位までのチームが進み、下記のような試合が行われ、最後の韓国シリーズで韓国一のチームが決定します。

- ワイルドカード決定戦**：4 位と 5 位チームが対戦
- 準プレーオフ**：3 位チーム 対 ワイルドカード勝者
- プレーオフ**：2 位チーム 対 準プレーオフ 勝者
- 韓国シリーズ**：1 位チーム 対 プレーオフ 勝者

→ 試合観戦レポート

さて、韓国プロ野球ならではの魅力と言えば熱狂的な応援合戦が挙げられます。

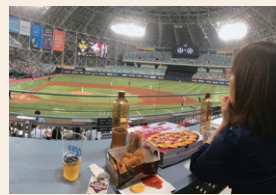
韓国では内野席の外野側 (甲子園のアルプス席) に各チームの応援席があり、応援方法も独特で、大音量のスピーカーでのマイクパフォーマンスや球団専属のチアリーダーによる応援など、攻撃中は大変な盛り上がりになります。また、前述したとおり、球団が地方都市にもあることから、地域ごとに熱狂的なファンが多く、特に歴史と伝統のある釜山のロッテジャイアンツは、ソウル市内でのアウェ

イの試合でもホーム球団を上回ることも珍しくありません。

野球観戦のもう一つの楽しみは、ビールとおつまみです。日本ではビールなどは、座席にまわってくる売り子さんから購入しますが、韓国にはそのスタイルは少なく、観戦前に売店に行って購入します。

韓国で最も人気のメニューは、チキンとビールがセットになった「チメツ」で、ビールは普通の缶ビールのほかに、1 リットルのペットボトルに入ったものがあり、とてもお得に飲むことができ、他にもソジュ (韓国式焼酎) もコップ付きで売っています。

また観戦席もゆっくり食事をしながら応援できるテーブル席や、球場によっては団体で観戦できるボックス (個室) 席もあります。



チメツ (チキン&メッチュ (ビール))



観戦席 (テーブル席) と球場の様子

→ 最後に

韓国プロ野球 10 球団のうち、7 球団が日本 (沖縄・宮崎) で春季キャンプを行う (2018 年) ほか、秋季には、宮崎県で開催される「フェニックスリーグ (教育リーグ)」にも韓国のプロ野球の球団が参加しています。

これからは韓国からキャンプ地や試合観戦に訪れる野球ファンの増加も期待できるのではないのでしょうか。

プロ野球を通じて、日韓の友好関係が更に深まっていくことを期待したいと思います。

韓国プロ野球について、もっと知りたい方はぜひ、韓国プロ野球応援サイト「ストライク・ゾーン」のホームページをご覧ください。

<https://www.strike-zone.jp/>